

第7回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和2年12月23日(水) 午後2時より午後3時50分まで

協議内容

- ・R3/1に開設される東大阪市成年後見サポートセンターについて東大阪市福祉部地域福祉課 和田課長、東大阪市社会福祉協議会 西野次長より説明が行われる。
- ・コロナ禍における各機関の対応や状況の意見交換を行う。新型コロナウイルス感染症にかかった後の支援や連携、コロナ禍での地域との取り組み、医療機関との連携、発熱患者宅への訪問時の悩みや対応方法などについて多くの意見が出ていた。

各機関の報告

1 各選出機関の活動状況について

- ・基幹型地域包括支援センター 12/17 地域包括支援センター連絡調整会議を初めてオンラインで開催した。大きな混乱なく実施することができた。
- ・地域包括支援センター 12/4 生活支援コーディネーター連絡会 ZOOM研修を実施。
12/17 地域包括支援センター連絡調整会議 オンラインで開催。10分立ち寄り型介護予防教室の内容報告あり。
- ・訪問看護事業者部会 12/22 事例検討を6事例実施。誤嚥性肺炎の話が多く、嚥下機能訓練の重要性を学んだ。
- ・介護支援専門員連絡会 大阪府の新型コロナウイルス感染症警戒信号が赤色になったが、利用者は自宅訪問を拒む様子は少ないが、デイサービスの利用を控える人が増えている。
ZOOMでの会員向け研修を検討しており、11/18テスト接続を行った。
- ・布施医師会 12/12 第23回布施緩和ケア研修会 ZOOMにて開催 参加者は26名
3/13 三医師会かかりつけ医認知症対応力向上研修会 ZOOMと現地で開催
認知症初期集中支援チーム 布施 134件エントリー/83件終了
- ・河内医師会 現在感染の第3波が来ていると言われており、受診抑制の動きが出ている。
市から集団検体接種の協力要請がある。
- ・市立東大阪医療センター 12/17 第4回多職種連携ねっとわーく会 参加者は10数名
- ・社会福祉協議会 12/15 認知症キャラバン・メイト連絡会 研修会 参加者はオンライン27名、会場参加13名
新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少、失業した方への貸付(緊急小口資金・総合支援資金)期間がR3/3末まで延長になった。
- ・保健所 大阪府の新型コロナウイルス感染症警戒信号が赤色になったが乳幼児健診とがん検診は行っている。高齢者向けの介護予防教室などは年内中止している。
- ・福祉事務所 12/15～第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画素案のパブリックコメント(意見募集)を行っている。
- ・地域包括ケア推進課 10分立ち寄り型の介護予防教室として介護予防銀行という取り組みを進めている。貯筋通帳という冊子も作成。
11/30 東大阪市・八尾市・柏原市(中河内圏域)での広域的な認知症ネットワーク強化のための会議が行われた。
12/1 教育施策連絡会 市内の校長に対し認知症キッズサポーター養成講座の実績及び今後の開催協力依頼を行った。
12/5 第8回楽Café(認知症本人交流会)を開催。会のロゴマークを作成。
12/16 楽Café弁当 認知症当事者4名、支援者16名が参加。179食の注文があったが、スムーズに進行することができた。